

人・農地プラン

市町村名	集落/地域名	当初作成年月	更新年月(1回目)	更新年月(2回目)	更新年月(3回目)
田村市	地見城	H31.3	R2.3		

1-1. 今後の地域の中心となる経営体(担い手)

属性	経営体(氏名)	経営者・代表者の年齢	構成員(従業員)	後継者の有無	現状【令和元年度】		計画【令和6年度】		農地中間管理機構からの借入希望の有無	新規就農・6次産業化・高付加価値化・複合化・低コスト化・法人化等の取組	取組年度	活用が見込まれる施策				備考	
					経営内容(作目)	経営規模(ha、頭数等)	経営内容(作目)	経営規模(ha、頭数等)				青年就農給付金(開始型)	スーパーL資金の金利負担軽減措置	経営体育成支援事業	その他()		
法	A法人	才	8名	有	水稻 野菜	ha ha	水稻 野菜(さつまいも)	23.9 0.6	ha ha	○	低コスト化	取組中					
法人の構成員	B氏	72才	1名	無	水稻	1.9 ha			ha								
	C氏	68才	2名	無	水稻 野菜	2.1 0.02 ha			ha ha								
	D氏	62才	2名	無	水稻 野菜	1.8 0.2 ha			ha ha								
	E氏	60才	1名	無	水稻 野菜	2.6 0.5 ha			ha ha								
	F氏	59才	1名	無	水稻 野菜	1.6 0.2 ha			ha ha								
	G氏	57才	3名	無	水稻 野菜	1.4 0.3 ha			ha ha								
	H氏	53才	1名	無	水稻 野菜	1.4 0.7 ha			ha ha								
	I氏	43才	1名	有	水稻 野菜	1.1 0.3 ha			ha ha								

【 記載上の注意 】

- ※ 「今後の地域の中心となる経営体」には、規模拡大による経営の効率化、6次産業化による農畜産物の高付加価値化、経営の多角化・複合化など地域農業の発展を牽引する経営体や将来こうした役割を担うであろう新規就農者等を記載します。また、認定農業者、大規模経営体、農業法人及び広域で営農する農業者がいれば、それらの経営体の意向を確認したうえで、地域の中心となる経営体として位置づけます。
- ※ 「属性」には、認定農業者は「認農」、法人は「法」、集落営農は「集」、認定新規就農者は「認就」と記載します。
- ※ 「経営体(氏名)」には、法人経営、集落営農など組織経営体の場合は、その組織経営体の名称を記載し、下段括弧書きで組織経営体の代表者名を記載します。集落営農の構成員である認定農業者については、その全ての認定農業者の「認農：氏名」を記載します。
- ※ 計画欄については、現状から概ね5年程度を記載する。(以下の計画欄についても同じ。)
- ※ 「新規就農・6次産業化・・・等の取組」には、経営発展のために今後取り組もうとする内容に合致する取組を選択し記載します。
- ※ 「その他」には、6次産業化支援事業、強い農業づくり交付金(経営資源有効活用対策事業)、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金など、活用が見込まれる関連施策がある場合に記載します。
- ※ 「備考」には、活用する県単独事業などの施策の内容、経営発展に向けて取り組む内容で特筆すべき事項等があれば記載します。

2. 1から見た地域における担い手の確保状況

担い手は十分確保されている / **担い手はいるが十分ではない** / 担い手がいない

3. 将来の農地利用のあり方

取組事項	対応	
担い手に集積・集約化する	○	農業振興地域を中心に継続して担い手への農地の集積・集約化を推進し、担い手の分散錯圃の解消を図っていく。
担い手の分散錯圃を解消する	○	
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する		
耕作放棄地を解消する	○	
その他[右欄に自由に記載]		

4. 3)についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応	
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	農地の出し手・受け手双方の意向を把握しながら、関係機関と連携して農地中間管理機構の活用を図っていく。
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	
担い手の分散錯圃を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	
その他[右欄に自由に記載]		

5. 近い将来農地の出し手となる者と農地

[国、都道府県に報告する場合は、農業者名を記載しますが、集落・地域で使用する場合は匿名とすることができます。]

近い将来農地の出し手となる農業者 (氏名)	年齢	現状 [平成27年度]		計画 [平成32年度]		利用しなくなる農地面積	農地中間管理機構への貸付け希望の有無	
		経営内容 (作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)		農地面積	貸付時期
「別紙：近い将来農地の出し手となる者の農地」へ記載	オ		ha		ha	ha	ha	
	オ		ha		ha	ha	ha	
	オ		ha		ha	ha	ha	
	オ		ha		ha	ha	ha	
	オ		ha		ha	ha	ha	

※ 筆ごとの具体的な貸付等の計画がある場合は、「別紙：近い将来農地の出し手となる者の農地」に記載します。

6. 今後の地域農業のあり方

今後の地域農業のあり方(地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めて)		
取組事項	対応	コメント
生産品目の明確化	○	<ul style="list-style-type: none"> ・中心的経営体は、水稻を主体に野菜を組み入れた複合経営に取り組み、農畜産物の加工・販売により地域の生産体制を支えていく。 ・当地区において兼業化並びに高齢化が進み担い手が不足しているため中心的経営体に農地の利用集積により、地域農業の体質強化を図る。 ・6次産業化による農産物の高付加価値化を図る。 ・行政、農協等と連携を密にし、新規就農者の定着を図る。
複合化	○	
6次産業化	○	
高付加価値化	○	
新規就農の促進	○	
その他 []		

別紙:近い将来農地の出し手となる者の農地

近い将来農地の 出し手となる者 (氏名)	耕地地番	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号	貸付等の区分(m ²)			貸付等の 予定年度	農地中間管理 機構への貸付 を予定
				貸付	作業委託	売渡		
		田	古道字上野前	763			R2	○
		田	古道字上野前	1,382			R2	○
		田	古道字上野前	4,125			R2	○
		田	古道字上野前	751			R2	○
		田	古道字上野前	371			R2	○
		田	古道字上野前	197			R2	○
		田	古道字上野前	1,365			R2	○
		田	古道字上野前	1,231			R2	○
		田	古道字下ノ久保	498			R2	○
		田	古道字下ノ久保	125			R2	○
		田	古道字下ノ久保	977			R2	○
		田	古道字下ノ久保	1,258			R2	○
		田	古道字下ノ久保	32			R2	○
		田	古道字尾ノ川	6,148			R2	○
		田	古道字尾ノ川	142			R2	○
		田	古道字尾ノ川	1,363			R2	○
		田	古道字下ノ久保	2,416			R2	○
		田	古道字下ノ久保	1,088			R2	○
		田	古道字下ノ原	836			R2	○
		田	古道字下ノ原	694			R2	○
		田	古道字上野前	1,120			R2	○
		田	古道字上野前	1,846			R2	○
		田	古道字上野前	1,028			R2	○
		田	古道字前田	1,123			R2	○
		田	古道字場々	1,024			R2	○
		田	古道字場々	471			R2	○
		田	古道字場々	1,318			R2	○
		田	古道字上野前	1,283			R2	○
		田	古道字上野前	1,283			R2	○
		田	古道字上野前	1,283			R2	○
		田	古道字上野前	1,283			R2	○
		田	古道字場々	8,755			R2	○
		田	古道字上野前	1,955			R2	○
		田	古道字上野前	914			R2	○

近い将来農地の 出し手となる者 (氏名)	耕地地番	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号	貸付等の区分(m ²)			貸付等の 予定年度	農地中間管理 機構への貸付 を予定
				貸付	作業委託	売渡		
		田	古道字上野前	1,873			R2	○
		田	古道字場々	1,975			R2	○
		田	古道字場々	454			R2	○
		田	古道字前田	801			R2	○
		田	古道字前田	1,189			R2	○
		田	古道字前田	2,648			R2	○
		田	古道字前田	1,134			R2	○
		田	古道字番坊	576			R2	○
		田	古道字番坊	1,262			R2	○
		田	古道字下ノ久保	3,482			R2	○
		田	古道字下ノ久保	209			R2	○
		田	古道字下ノ久保	2,159			R2	○
		田	古道字下ノ原	1,492			R2	○
		田	古道字下ノ原	897			R2	○
		田	古道字尾ノ川	4,903			R2	○
		田	古道字尾ノ川	5,248			R2	○
		田	古道字尾ノ川	2,430			R2	○
		田	古道字尾ノ川	2,121			R2	○
		田	古道字下ノ久保	2,561			R2	○
		田	古道字下ノ久保	1,216			R2	○
		田	古道字下ノ久保	712			R2	○
		田	古道字下ノ久保	325			R2	○
		田	古道字下ノ原	1,873			R2	○
		田	古道字上野前	1,408			R2	○
		田	古道字上野前	1,236			R2	○
		田	古道字上野前	763			R2	○
		田	古道字上野前	2,966			R2	○
		田	古道字前田	770			R2	○
		田	古道字前田	1,422			R2	○
		田	古道字前田	922			R2	○
		田	古道字前田	5,464			R2	○
		田	古道字前田	1,001			R2	○
		田	古道字前田	917			R2	○

近い将来農地の 出し手となる者 (氏名)	耕地地番	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号	貸付等の区分(m ²)			貸付等の 予定年度	農地中間管理 機構への貸付 を予定
				貸付	作業委託	売渡		
		田	古道字下ノ原	2,553			R2	○
		田	古道字下ノ原	209			R2	○
		田	古道字下ノ原	207			R2	○
		田	古道字下ノ原	5,720			R2	○
		田	古道字下ノ原	2,428			R2	○
		田	古道字番坊	2,827			R2	○
		田	古道字番坊	2,352			R2	○
		田	古道字番坊	1,966			R2	○
		田	古道字番坊	715			R2	○
		田	古道字下ノ久保	1,556			R2	○
		田	古道字下ノ久保	731			R2	○
		田	古道字下ノ久保	2,248			R2	○
		田	古道字尾ノ川	7,959			R2	○
		田	古道字尾ノ川	2,210			R2	○
		田	古道字下ノ久保	657			R2	○
		田	古道字番坊	2,957			R2	○
		田	古道字番坊	2,006			R2	○
		田	古道字番坊	2,293			R2	○
		田	古道字番坊	2,223			R2	○
		田	古道字番坊	1,476			R2	○
		田	古道字番坊	246			R2	○
		田	古道字番坊	160			R2	○
		田	古道字番坊	1,643			R2	○
		田	古道字番坊	1,345			R2	○
		田	古道字番坊	1,895			R2	○

近い将来農地の 出し手となる者 (氏名)	耕地地番	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号	貸付等の区分(m ²)			貸付等の 予定年度	農地中間管理 機構への貸付 を予定
				貸付	作業委託	売渡		
		田	古道字下ノ久保	1,326			R2	○
		田	古道字尾ノ川	1,656			R2	○
		田	古道字尾ノ川	978			R2	○
		田	古道字尾ノ川	5,186			R2	○
		田	古道字尾ノ川	6,580			R2	○
		田	古道字尾ノ川	1,612			R2	○
		田	古道字尾ノ川	1,177			R2	○
		田	古道字尾ノ川	2,096			R2	○
		田	古道字尾ノ川	2,323			R2	○
		田	古道字尾ノ川	2,252			R2	○
		田	古道字尾ノ川	1,607			R2	○
		田	古道字上野前	1,220			R2	○
		田	古道字下ノ久保	1,536			R2	○
		田	古道字下ノ久保	3,945			R2	○
		田	古道字番坊	2,616			R2	○
		田	古道字番坊	963			R2	○
		田	古道字番坊	1,438			R2	○
		田	古道字番坊	1,159			R2	○
		田	古道字場々	4,667			R2	○
		田	古道字場々	1,654			R2	○
		田	古道字番坊	1,785			R2	○
		田	古道字上野前	3,201			R2	○
		田	古道字前田	1,576			R2	○
		田	古道字前田	1,563			R2	○
		田	古道字前田	2,122			R2	○
		田	古道字前田	1,024			R2	○
		田	古道字前田	733			R2	○
		田	古道字番坊	2,022			R2	○
		田	古道字番坊	3,080			R2	○

近い将来農地の 出し手となる者 (氏名)	耕地地番	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号	貸付等の区分(m ²)			貸付等の 予定年度	農地中間管理 機構への貸付 を予定
				貸付	作業委託	売渡		
		田	古道字尾ノ川	3,768			R2	○
		田	古道字尾ノ川	1,543			R2	○
		田	古道字下ノ原	3,744			R2	○
		田	古道字下ノ原	896			R2	○
		田	古道字下ノ原	606			R2	○
		田	古道字下ノ原	604			R2	○
		田	古道字場々	10,069			R2	○
			合計	239,917				

【 記載上の注意 】

※ 「5. 近い将来農地の出し手となる者」ごとに記載します。

※ 国、都道府県に報告する場合は、農業者名を記載しますが、集落・地域で使用する場合は匿名とすることができます。

※ 農地利用図の添付は必須ではありません。